

StateEcoで廃棄物処理が 進化する

業務効率化とCO2削減を両立する新しい産廃処理フロー

Step1 集荷依頼

排出事業者

従来



- 廃棄物の数量を記録しまとめる
- マニフェスト作成
- 電話/FAX/メールで集荷依頼



StateEco



- スマホ/タブレット/PCで排出物情報を入力
- 集荷依頼が共有され、電子マニフェストへ登録される

ポイント

業務効率化

スマホなどへ入力した排出物情報が集荷依頼になり、電子マニフェストへ連携登録される為、依頼の手間がかからない

Step2 廃棄物の回収

収集運搬事業者

従来



- 集荷依頼受領
- 配車計画立案
- 集荷予定連絡
- 回収して中間処理業者に搬入



StateEco



- 地図上で排出状況確認
- 回収予定連絡
※メール自動通知
- 回収して中間処理業者に搬入

ポイント

業務効率化

CO2削減

地図上で確認できる排出事業者ごとの排出量をもとに配車計画を立て、共同回収を実施できるので効率的

Step3 環境レポート

中間処理事業者

従来



- 回収品の搬入/処理



StateEco



- 回収品の搬入/処理
- 資源循環レポート向け情報入力

ポイント

環境改善

フローの最後に資源循環レポートを入力して排出事業者に共有するので環境改善に向けたフィードバックになる